

議会だより

2016

平成28年5月1日発行

No.19



思い出を胸に もうすぐ一年生 —こども園—

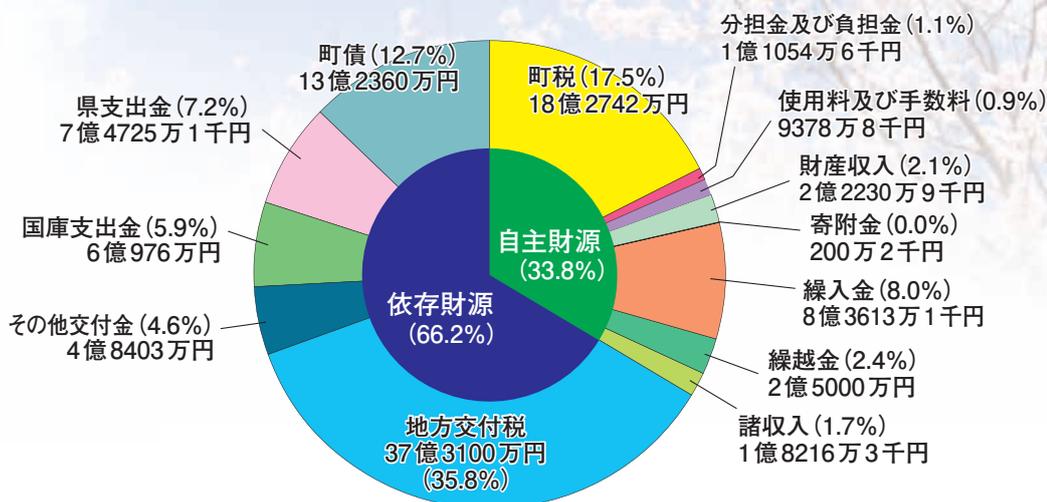
Contents

平成28年度当初予算を可決

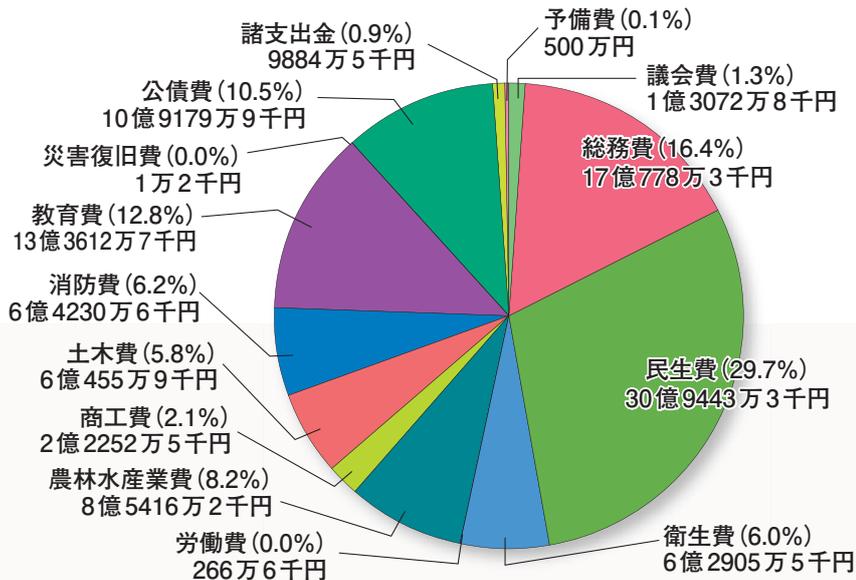
- | | |
|----------------|--------------------|
| ② 28年度当初予算可決 | ⑪ 委員会報告 |
| ④ 議案採決結果 | ⑮ 議会10年のあゆみ |
| ⑤ 当初予算重点施策 | ⑯ PFI問題の幕引き |
| ⑥ 第1回臨時会/3月定例会 | ⑰ 11人が町の考えを問う 一般質問 |

163億1440万円可決

一般会計歳入予算の内訳（入ってくるお金）



一般会計歳出予算の内訳（使いみち）



用語の説明

町 税	町民が納める税金（町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税等）
繰 入 金	町の貯金を下ろして使うお金 他会計や基金から取り入れる資金
交 付 金 等	消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金
地 方 交 付 税	自治体運営の均衡を保つため、国税（所得税、法人税、酒税など）の一部から配分されるお金
国・県支出金	決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金
町 債	町が大きな事業を行うため借り入れるお金
公 債 費	町債を返済するためのお金
自 主 財 源	町が自前で賄うことができるお金
依 存 財 源	地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金

平成28年度予算総額

合併10周年を迎え さらに活気ある町づくりを目指して

平成28年第1回3月定例会は、3月1日から3月17日までの17日間で開会。条例の制定および一部改正、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算など36議案を慎重審議の上、全会一致で可決した。今年度も農林振興や子育て支援、住環境の整備など住みやすいまちづくりをめざし、合併後10周年を迎え活気あるまちづくりに取り組んで行く。

一般会計 104億2000万円

(対前年度 12億4700万円減、対前年度比10.7%減)

特別会計 58億9440万円

(対前年度 1億4250万円減、対前年度比2.4%減)

平成28年度当初予算

(単位:円、%)

名 称	平成28年度 当初予算額	平成27年度 当初予算額	比 較	
			増減額	増減率
一般会計	104億2000万	116億6700万	▲ 12億4700万	▲ 10.7
特別会計	58億9440万	60億3690万	▲ 1億4250万	▲ 2.4
国民健康保険特別会計	27億4710万	29億5630万	▲ 2億920万	▲ 7.1
事業勘定	26億7180万	28億8330万	▲ 2億1150万	▲ 7.3
直診勘定 (歯科)	470万	390万	80万	20.5
直診勘定 (内科)	7060万	6910万	150万	2.2
後期高齢者医療特別会計	2億4930万	2億5260万	▲ 330万	▲ 1.3
介護保険特別会計	22億9150万	23億720万	▲ 1570万	▲ 0.7
簡易水道特別会計	2億7660万	2億2340万	5320万	23.8
下水道特別会計	2億3340万	1億9790万	3550万	17.9
農業集落排水特別会計	3000万	3050万	▲ 50万	▲ 1.6
浄化槽整備推進事業特別会計	6650万	6900万	▲ 250万	▲ 3.6
合 計	163億1440万	177億390万	▲ 13億8950万	▲ 7.8

議案の採決結果

全ての議案等に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

議案名等	議員名			議席番号																関連ページ	
	賛成	反対	議決結果	15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16		
				関洋三	竹林昌秀	川西米希子	田岡秀俊	合田正夫	三好郁雄	白川正樹	白川年男	白川皆男	大西樹	藤田昌大	松下一美	三好勝利	大西豊	川原茂行	川原茂行	欠員	
平成28年第1回臨時議会 (会期：平成28年2月8日)																					
議案第1号	専決処分の承認(まんのう町税条例の一部改正について)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第2号	専決処分の承認について(まんのう町国民健康保険条例の一部改正について)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第3号	専決処分の承認について(まんのう町介護保険条例の一部改正について)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第4号	事業変更契約の締結について(まんのう町立満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第5号	平成27年度まんのう町一般会計補正予算(案)第4号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
平成28年第1回定例会 (会期：平成28年3月1日～17日)																					
議案第1号	まんのう町地域木材利用促進条例の制定について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案第2号	まんのう町行政不服審査会条例の制定について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案第3号	まんのう町行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案第4号	まんのう町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第5号	まんのう町職員の給与に関する条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案第6号	まんのう町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案第7号	まんのう町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P9
議案第8号	まんのう町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第9号	まんのう町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
議案第10号	まんのう町デマンドタクシー条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第11号	まんのう町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P9
議案第12号	まんのう町乳幼児等医療費支給に関する条例等の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P9
議案第13号	まんのう町仲南老人福祉センター条例の廃止について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第14号	まんのう町立満濃中学校教育振興基金条例の制定について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P9
議案第15号	まんのう町過疎地域自立促進計画の策定について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P9
議案第16号	香川県広域水道事業体設立準備協議会規約の一部変更について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第17号	平成27年度まんのう町一般会計補正予算(案)(第5号)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第18号	平成27年度まんのう町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第3号)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第19号	平成27年度まんのう町後期高齢者医療特別会計補正予算(案)(第1号)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第20号	平成27年度まんのう町介護保険特別会計補正予算(案)(第2号)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第21号	平成27年度まんのう町下水道特別会計補正予算(案)(第2号)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第22号	平成27年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(案)(第2号)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第23号	平成27年度まんのう町下水道事業会計補正予算(案)(第2号)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第24号	平成28年度まんのう町一般会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第25号	平成28年度まんのう町国民健康保険特別会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第26号	平成28年度まんのう町後期高齢者医療特別会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第27号	平成28年度まんのう町介護保険特別会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第28号	平成28年度まんのう町簡易水道特別会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第29号	平成28年度まんのう町下水道特別会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第30号	平成28年度まんのう町農業集落排水特別会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第31号	平成28年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第32号	平成28年度まんのう町水道事業会計予算(案)	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P10
議案第33号	まんのう町課設置条例等の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	まんのう町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	教育委員会委員任命の同意について	14	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第36号	教育委員会教育長任命の同意について	14	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
発議第1号	「森林環境税(仮称)導入を求める意見書(案)」	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P8
	閉会中の継続調査について	14	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※可-可決 否-否決 認-認定 不-不認定 推-推薦 継-継続審査 同-同意 ○賛成 ×-反対 承-承認 許-許可
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号15番)

ここに
注目!

平成
28年度

当初予算の重点施策

今後の予算執行において十分にチェック機能を果たしていく。

目的別事業名	●新規事業 ●拡充事業 ●継続事業	予算額(概算)
学校教育の充実	●満濃南小学校 放課後児童クラブ新築事業	7100万円
	●四条小学校 施設大規模改修事業	2億4400万円
次世代育成の支援	●子育て支援事業	780万円
生活環境の保全	●太陽光発電システム設置助成事業	540万円
生活基盤の整備	●橋梁長寿命化事業	6800万円
	●町道等維持補修事業	1億6100万円
	●ため池ハザードマップ作成等事業	4470万円
住環境の整備	●若者住宅取得補助事業	4800万円
	●地域木材利用促進補助事業	640万円
農林業の振興	●有害鳥獣被害対策事業	1340万円
生活安全対策の充実	●はしご消防車更新事業	1億4800万円
地域の振興	●合併10周年記念事業	5000万円

平成28年3月定例会

開催期間 3月1日～17日（17日間）

平成27年度3月補正予算

平成28年度当初予算・条例の制定等
36議案を原案通り可決した。

平成28年第1回臨時会

開催日 2月8日

PFI契約変更の承認等
5議案を可決した。

平成27年度3月補正予算

会計名		補正額	予算総額
一般会計		3億9958万円	136億5070万円
特別会計		▲3億662万円	56億450万円
水道事業会計	収益的収入	▲116万円	3億280万円
	収益的支出	▲134万円	2億7860万円

平成27年度 3月補正の主な内容（一般会計）

事業名	目的別名	補正予算額
情報通信システム管理費	総務費	6070万円
地方創生加速化交付金事業費	総務費	3720万円

平成27年度 3月補正の主な内容（特別会計）

事業名	目的別名	補正予算額
一般被保険者療養給付費	国民健康保険	▲5570万円
浄化槽施設管理委託料	施設管理費	▲600万円

●平成28年

第1回臨時会

即決案件

議案第1号

町税条例の一部改正

町税条例、納税義務者の条文から個人番号に関する語句を削除した。

原案可決

議案第2号

町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の減免に、氏名、住所に加え、個人番号の記載を定めた。

原案可決

議案第3号

町介護保険条例の一部改正

介護保険料の徴収猶予・減免に関し、氏名、住所に加え、個人番号の記載を定めた。

原案可決

議案第4号

事業変更契約の締結

町立満濃中学校改築、町立図書館等複合施設整備事業契約金額の変更（消費税率変更等に伴い）の締結を可決した。

契約金額の増額

約9200万円

変更後の金額

約82億5千万円

原案可決

議案第5号

平成27年度町一般会計補正予算

PFI事業に係る留保金の支払いを可決した。

原案可決

●平成28年

3月定例会

即決案件

議案第4号

職員の勤務時間、休暇等条例の一部改正

学校教育法の一部改正に伴い「義務教育学校」が新たな学校の種類として規定されたため改正した。

原案可決

議案第8号

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正

産業医の月額報酬額を定めた。

原案可決

議案第10号

デマンドタクシー条例の一部改正

議案第13号

デマンドタクシーを五条眼科まで運行できるようにした。

原案可決

仲南老人福祉センター条例の廃止

仲南公民館の移転により仲南老人福祉センターを廃止した。

原案可決

議案第16号

香川県広域水道事業体設立準備協議会規約の一部改正

坂出市と善通寺があらたに加入することとなったため改正した。

原案可決

議案第35号・36号

教育委員と教育長任命の同意

吉野
七箇
氏
三原 一夫 氏
（教育長）
青野 公子 氏
（委員）

原案承認



デマンドタクシーを利用して

発議即決案件

発議第1号

「森林環境税（仮称）」の導入を
求める意見書（案）

【内容の概要】

高齢化や過疎など森林を取り巻く環境の悪化等、山林の荒廃が深刻化しており、維持・回復など森林の整備が課題である。森林整備を行うため、その財源として恩恵を受ける住民に費用負担を幅広く求める「森林環境税（仮称）」を既に、37府県が導入している。森林の整備や保全等の促進をはかるとともに「森林環境税（仮称）」として一定割合を市町の交付金とすることを強く要望する。

原案可決

付託案件

総務常任委員会付託

執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第1号

地域木材利用促進条例の制定



町産木材の活用（イメージ）

【執行部】床面積120平方メートル程度の木造住宅で約20立方メートルの木材を使用すると見込んでいる。

【委員】需要に見合う量を確保することはできるのか。

【執行部】香川西部、仲南町両森林組合と協議して家屋5軒分程度の木材はストックを依頼している。

【委員】材木が町産材であることの確認はどうするか。

【執行部】町内の森林組合の証明書を添付してもらう。

原案可決

議案第2号

行政不服審査会条例の制定

行政不服審査法により第三者機関への手続きを条例で定めた。

原案可決

議案第3号

行政不服審査法条例の制定

行政不服審査法の関係法律の法整備により関係条例の改正をした。

原案可決

議案第5号

職員の給与条例の一部改正

議案第6号

特別職の職員で常勤の給与及び旅費条例の一部改正

人事院勧告と香川県人事委員会勧告に基づいて改正した。

原案可決

議案第9号

職員の特殊勤務手当条例の一部改正

町有地、町道等の管理を行うため、重機を用いた作業や、その周辺作業などの重作業者に手当を支給するための改正をした。



きめこまやかな道路清掃

●主な質疑と答弁

【委員】直営で道路の草刈りなどを行えば地元業者等への作業委託が減ることになるのではないのか。

【執行部】町道等の維持業務を委託した場合に土木業者では高くなる。シルバー委託では機動力に欠け作業が遅くなる。日々の道路等の維持作業は直営の現業班がするほうが効率的で安価に行える。

原案可決

議案第15号

過疎地域自立促進計画の策定

平成28年度から平成32年度までを計画年次とする町過疎地域自立促進計画を策定した。

●主な質疑と答弁

【委員】過疎地域自立促進計画の目的はなにか。どのような事業に取り組んでいくのか。

【執行部】今後も有利な過疎債を利用して事業を行っていくためである。過疎法の執行期限延長に伴い、従来の計画に地域材利用住宅補助事業や、若者住宅取得補助事業、放課後児童クラブ施設整備事業などを追加する。

原案可決

議会運営委員会付託

議案第7号

まんのう町議会議員の議員報酬及び費用弁償等の条例の一部改正

人事院勧告と香川県人事委員会勧告に基づいて改正した。

原案可決

教育民生常任委員会付託

執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第11号

町指定地域密着型サービス等の事業の人員設備及び運営に関する条例の制定

指定地域密着型サービス事業条例の全部を改正した。

原案可決

●主な質疑と答弁

【委員】今回の改正により影響を受ける町内の介護サービス提供事業所はどこか。

【執行部】町内では定員19名以下の「げんきの郷」「はびねす・まんのう」「百の家」「よりあい」の4事業所である。

議案第12号

乳幼児等医療費支給に関する条例等の一部改正

平成28年8月から対象乳幼児のすべてについて窓口無償化を実施することにより、現条例中の「乳幼児等」を「子ども」に改めた。

●主な質疑と答弁

【委員】窓口無償化に関して、国が国保のペナルティー(補助金カット)を課しているが、どうなるのか。

【執行部】厚労省は、医療費増に影響があるとして国保の国庫負担削減措置「波及増カット」を実施している。それについては少子化対策にも



早く治そうね 小児科の窓口で

逆行するとのことで、全国知事会なども、廃止を求めており、国の方でも協議を行っているようである。

原案可決

議案第14号

町立満濃中学校教育振興基金条例の制定

寄付金を基金として、中学校の教育振興に充当していくための条例を制定した。

●主な質疑と答弁

【委員】具体的には何に活用するか考えているのか。

【執行部】たとえば海外派遣の人数増などが考えられるが、現在協議中である。

【委員】部活動の充実には使えるのか。

【執行部】部活動等への充当も考えて行きたい。

【委員】満濃中学校限定とのことだが理由は。

【執行部】PFI事業の絡みもある。また小学校教育については、子ども未来夢基金を使っていきたい。

原案可決

予算決算特別委員会付託

議案第17号から議案第32号までの予算関係16議題について、執行部に詳細な説明を求め慎重に審議した。

平成27年度補正予算

議案第17号～23号

●主な質疑と答弁

【委員】 次年度に繰越される金は現年の事業費として、住民サービスに使うべきではないか。

【執行部】 次年度への繰越金は、年度の貴重な財源であり、繰越さず使った場合は結局不足分は基金等を取り崩し補てんすることになり、硬直した予算運用をせざるを得ないことになることから、従来通り繰越金として次年度に持ち越したい。

地域おこし協力隊活動事業費

【委員】 募集に対する応募がなく予算が減額となったことは、大変残念である。今年度の募集についてはどのように取り組んで行くのか。

【執行部】 地域おこし協力隊には、ひまわり関連の製品販売に特化する

ことを明確に伝えた上で募集を行いたい。報酬についても他の自治体と調べて低くならないよう引き上げた。

●委員から出た主な意見・要望

自主防災組織補助金

防災組織が備品の購入代金を一時的にせよ、立て替えることが、負担になっており、制度上の利用率が低迷している原因ではないのか。改善はできないか。

ことなみ未来会議事業

未来会議のメンバーが先進地を視察してはどうか。



地域の将来のために知恵を出し合う

平成28年度当初予算

議案第24号～32号

●主な質疑と答弁

【委員】 歳入額はまだ10億円程度入っていると見込まれるが、ハード事業に充てる考えはないのか。

【執行部】 ハード事業で100%の国、県の補助はありえず、借金をしてまで予算を膨らませ、公共事業に投資することは考えていない。また、歳入不足になれば住民へのサービスを削減することに繋がる。

●委員から出た主な意見・要望

- ・ 早急に町の防災士会を立ち上げ地域の防災意識を高揚させ災害に備えるべき。
- ・ ふるさと納税を増やすための施策を講じるべき。
- ・ 敬老会委託料を増額し、事業の充実を図るべき。
- ・ 民生委員へのサポート体制を充実し負担の軽減と次世代の民生委員の育成を図るべき。
- ・ 学校図書室へ司書を配置することについて、町内小学校全体で一人の司書は負担が大きく図書環境の整備が不十分になるのではないのか。



ボランティアに励む民生委員

- ・ 成人式への参加率が低下している。対策を講じるべき。
- ・ 寄附を受けた図書の取り扱いやデータ化について考えるべきでは。
- ・ 農業委員会と議会で合同の研修会をしてはどうか。
- ・ 有害鳥獣駆除事業費をもっと増額し対策を充実すべき。
- ・ そば、ひまわり栽培振興補助金について、堆肥散布補助金を別立てで支給すべき。
- ・ 道路の舗装等の維持工事について予算を小分けにせず一ヶ所に重点的に使い投資効果を上げてはどうか。
- ・ 他にも多数の質疑意見があったが、採決の結果全会一致で可決すべきものと決定した。

原案可決

教育民生常任委員会

●町立図書館 ●英語教育 ●胃がん検診 ●ゴミ処分料 ●琴南地区地域医療 ●保育料 ●地域行事

町立図書館
チャイルド(乳幼児)
タイムを

〔川西米希子委員〕男女、年代、町内外、等の細かい来館者分析はできているのか。幼い子どもを連れた保護者が、気軽に過ごすことができるような時間を作ることにはできないか。

〔社会教育課長〕来館者の細かい分析まではシステム上難しい。図書館にさまざまな人が気軽に来られるように図書館運営者との次の会で提案していきたい。



ボクも えほん 大好き

英語教育

町独自の教育環境を

〔白川正樹委員〕英語能力を養うために、小さなうちから英語に親しむことが重要である。町独自の取り組みを考えてはどうか。

〔学校教育課長〕小さな時から英語に触れる機会を増やしたいと思っている。自主的に学びたいという心を育むような教育環境を作って行きたい。

胃がん検診

早期発見のため

〔田岡秀俊委員〕胃カメラ検査は、集団検診でも実施できるのか。

〔健康増進課長〕集団検診での胃がん検査はバリウム検査のみであり、胃カメラ検査は人間ドック、医療機関での検診となる。

ゴミ処分料

納得の料金設定に

〔三好勝利委員〕燃やせるゴミを個人で焼却施設へ持ち込むと10kgで200円かかる。町が回収するよりも高いので下げることができないのか。

〔住民生活課長〕広域の施設なので、中讃広域会議の中で協議したい。

琴南地区地域医療

移動手段の充実を

〔川西米希子〕町立内科、歯科診療所のそれぞれの施設統合、移転

について、また、それに伴う移動手段の確保についてはどのように考えているのか。

〔琴南支所長〕歯科は、平成28年度は、今までどおり、造田、美合の2ヶ所で診療し、平成29年度に、造田1ヶ所に統合する予定である。内科は28年以後も、造田、美合の2ヶ所で診療を行う予定である。なお、造田にある内科・歯科診療所は、施設の老朽化が進んでいることと、住民サービス向上のため、琴南支所内に施設を新築する予定である。移動手段については、路線バス、デマンドタクシーでの対応を考えている。状況によっては便数を増やすなどの検討をする。

保育料

県下一安く

〔田岡秀俊委員〕2号認定は、県下で最も安く設定しているが、財源を割り振り、1号、3号認定も含めて全てが県下で最も安くなるようにできないか。

〔学校教育課長〕1号、3号認定の保育料は現在、他市町並みであるが、今後国の動向、他の市町の動きも見て検討していきたい。

地域行事
若者への継承を

〔白川年男委員〕公民館まつり、文化祭に関わっている各種団体のメンバーも高齢者が多くなってきた。また、成人式の参加者を増やす工夫も必要ではないか。

〔社会教育課長〕公民館まつり、文化祭については、今後若い人に関わってもらう工夫をしていきたい。成人式は運営を青年会にお願いしているが、新成人の実行委員会への参加がなかったのが残念であった。中学3年生に「20才の自分へ」という作文を書いてもらい、成人式に繋げていきたい。



大勢の人でにぎわう 福祉祭り

総務常任委員会

●消防装備 ●移動手段 ●音声告知機 ●振興公社 ●そばによる町おこし ●町産木材 ●町の資産運用



更新予定のはしご車

消防装備(はしご車) 安全で迅速な 救助活動のため

【松下一美委員】はしご車の更新はどうなっているのか。
【総務課長】はしご車等の装備自体がかなり古くなり、メーカーの保守点検を受けることができなくなったことから、買い替えを予定している。

移動手段 広域連携を

【三好郁雄委員】町のデマンドタクシーと他自治体のコミュニティバスや公共交通機関との連携について、広域圏で考えて行く必要があるのではないか。
【企画政策課長】定住自立圏形成事務調整会議で協議を行っている。

音声告知機 緊急時に役立つように

【大西豊委員】各家庭に設置しているが、電池がなくなり、液漏れを起しているケースがある。対応は考えているのか。
【企画政策課長】平成28年度で、抜本的修繕を行っていききたい。

振興公社 大丈夫か、このままで 計画的経営戦略は

【藤田昌大委員】経営が不振であり、原因究明をする必要があるのではないのか。
【企画政策課長】役員会などにおいて、原因の究明を行っていききたい。

そばによる町おこし 農業体験を活かす

【大西樹委員】栽培し収穫したそばの収量はどのくらいあるのか。また使途については、どのようにしているのか。
【琴南支所長】町が実施しているそば栽培体験での収穫量は本年度は120kgであった。収穫したそばは毎年12月に行う収穫祭で使い、残りは参加者に全部配っている。

町産木材 積極的に活用を



伐採した町産材

【藤田昌大委員】町の森林環境の保全を促進することが必要である。
町産材の活用についてはどのように考えているのか。
【総務課長】建築を予定している放課後児童クラブ施設は、木造建築として町産材を積極的に活用したいと考えている。今後も、公共施設の建設、建築時には、町産材の利活用を努めていきたい。

町の資産運用 長期的視野で

【藤田昌大委員】資産運用をとりまく環境が厳しさを増しているが、長期的資産運用の見直しはつくのか。
【会計室長】見直しはつかない状況であるが、半年程度は、今の金利が続くのではないのかと考えている。リスクの高い社債や金融債は持っていないため影響は少ないと思っている。

建設経済常任委員会

- 有害鳥獣
- 地籍調査
- サル被害対策
- ひまわり

【地籍調査課長】境界が決まらないところは2〜3ヶ所発生している。所有者でも境界が分からない人がいることもある。また調査後に地積が減っているといわれるケースも何件かある。

【白川皆男委員】調査区内において境界が決まらない箇所や、調査においてのトラブルの発生はないのか。

地籍調査
土地にかかる行政、経済活動をスムーズに行うため



設置13日目に捕獲(長尾地区)

委員会では、被害の拡大する五毛、長尾地区の二ヶ所に設置された捕獲檻の視察を行った。

有害鳥獣
I-T(センサー付)捕獲檻

委員会は、被害の拡大する五毛、長尾地区の二ヶ所に設置された捕獲檻の視察を行った。

【産業経済課長】現在、ひまわり推進協議会結成に向けて進んでいる。

【川原茂行委員】ひまわりを推進する考えがあるのなら協議会等の組織をつくり協議を行うべきだと思うが。

ひまわり
収益をあげるための組織を

【産業経済課長】処分は免許を持った職員が行っている。サルの被害で困っている地区は設置要望をしていたきたい。条件としては、地区住民全員の設置同意と、ワナの管理者になってもらうことの2つがある。

【合田正夫委員】捕獲したサルの殺処分はどうしているのか。またモデル地区以外から設置要望があった場合の対応をどう考えているのか。

サル被害対策
農産物生産の意欲等を守るため

農産物生産の意欲等を守るため



体にやさしい

第9回議会報告会(意見交換会)

町内6会場に議員が分かれて参ります。

少しでも多くの町民の皆さんと議会に対するご意見や町政のことをお話しできるよい機会だと思います。どの会場にでも、ご都合に合わせておいでください。

	A班(5名)	B班(5名)	C班(5名)
5月10日(火) 19時〜21時	長炭公民館(なごみ館) (第1・2会議室)	琴南総合センター (多目的会議室)	神野公民館 (2F 会議室・講習室)
5月11日(水) 19時〜21時	琴南公民館 (2F 洋室)	仲南支所 (2F 全員協議会室)	満濃農村環境改善センター (2F 農事研修室)

当日議会だより本誌19号を持参してください。

いっぴん来てつか

もっと身近な議会に!



地域を支える町づくり 地域が支える町づくり

互いに地域住民を代表する者として、町政運営や町づくりに関する前向きで建設的な意見の交換を行い、町政に反映させることを目的に開催し、今年で6回目となりました。

今年「人口減少社会」をテーマに、結婚支援、子ども子育て支援、教育、医療、農業、観光振興、地域の活性化、防災などについて活発な意見を交わしました。



第6回 連合自治会との意見交換会

知らせる広報から見える広報へ

松前町は歴史ある町で、今年2月1日に「議会だより」No.88号が発行されています。

議会広報委員会は、常任委員会と位置づけられ、7名の議員で構成されています。その意欲的な取り組みについて学んできました。

松前町では編集要綱や編集方針が策定され、広報編集の「五原則」①議会情報の「完全公開」②ありのままの公正で、客観的な記事の掲載等も定めています。議会からのメッセージではなく、読者側に立った知りたい記事を掲載する。徹底した住民主体の広報誌発行の姿勢を学びました。

又、写真についても、撮影における注意点や広報誌に掲載する時のポイント等も大変に参考になりました。

まず、研修で学んだ写真のキャプションについて、読者の方のイメージが膨らむように書く努力を深めてまいります。

今回の研修をこれからの「議会だより」の編集に活かしていきたいと思えます。



熱心に研修を受ける県下の広報委員

まんのう町議会

10年のあゆみ



平成18年3月20日
 琴南町、満濃町、仲南町の
 3町合併により「まんのう町」が誕生
 旧町議員数 琴南町10名、満濃町16名、仲南町12名

平成18年4月

議会議員選挙

議員定数21名でスタート

選挙区制 琴南地区4名、満濃地区12名、仲南地区5名

満濃中学校校改築調査特別委員会設置

議会議員選挙定数18名

11月

「第1回連合自治会と議会との意見交換会」開催（年1回）

「議会基本条例」制定

本会議の音声告知放送開始

委員会の原則公開開始

11月

「第1回議会報告会」開催（年2回）

12月

「議会だより」創刊号発行（年4回）

まんのう町議会の議員定数を定める条例制定（次期より定数16名）

「PFI事件対策特別委員会」設置

議会議員選挙定数16名

「PFI事件対策特別委員会」を改め、

「PFI問題対策特別委員会」を新たに設置

「PFI問題対策特別委員会」を廃止

5月

「議会だより」19号発行

合併10周年にむけて

まんのう町議会議長 関 洋三

10年前の合併当初と比べて人口増減比率が琴南20%減、仲南13%減、長炭14%減、吉野10%減、神野13%減に対して、四条3%増、高篠14%増です。現に高篠小学校新入生徒数44名（前年比1.5倍）がこのデータを物語っています。増え続ける地区と減り続ける地区の要因を探ってみれば、買い物する事が出来て、病院が近いことです。人口減地区では、これらを補うための交通網の確保が必要不可欠です。議員数の割合は、この逆の結果が出ており住民の議員に対する期待度に温度差があることに気づきます。議員一同しっかりと受け止めてなお一層の奮励努力に邁進してまいります。



第1回 議会報告会



議会だより創刊号



第8回 議会報告会（吉野公民館）

特別委員会は解散



町民体育館と図書館

公民協働の発揮に向けて

3月14日にPFI問題対策特別委員会が開催され、全面解決の合意を得た。今後は、生徒の教育と住民の福利厚生のために、公民協働の発揮が求められる。

執行部よりの説明は以下のとおりである。

原因考察と再発防止の報告書

①『品質問題発生の原因についての考察』副題「今後のPFI事業推進における提言」報告書の内容説明があり、議会が施工上の品質問題を調査し、有識者による第三者委員会を立ち上げて、補修の手立てを講じる体制を組み上げてきたことなどの経過表が添付された。

補填と寄付の申し出

②主幹事会社から、本町が品質問題の帰結のために余分に支払った2千3百万円と、人件費の人員補充分2千万円の補填の申し出があったこと。
③本町の教育のために、3千万円と29人乗りのバスを寄付する申し出があり、中学校教育振興基金に受け入れ

る。この支払いは平成28年度9月までに行われる。

留保分の支払いと契約の改定

④特別目的会社への支払い留保分の内、2億1千万円を2月中に支払い終えて、今年度中に残額2億円を支払う手順とする。
⑤施設現状と運用実態と整合するPFI契約の変更を承認した。
⑥無事に会計検査を終えた。当委員会は、この六点を了承した。

主幹事会社が包括的な対処

施工監理の責任を問えるのではないかと質問には、特別目的会社の債務保証をしている主幹事会社がすべてを担う対応に出ていることから、主幹事会社からの補填や寄付がこうしたすべてを包括しているとの見解を了承した。

決着ついて、

PFI 問題対策特別委員会の報告



校舎と運動場

問題解決の七箇条

- 解決要件は、以下のとおりである。
- (1) 補修を完了して品質問題を解決したこと。
 - (2) 経過報告と誓約書が提出されたこと。
 - (3) 本社から議会へ来訪して、陳謝した上で、PFI 契約を誠実に履行してゆくことと、総括マネージメントの運用強化策が誓約されたこと。
 - (4) 本町が余計に負担した経費が補填されること。
 - (5) 主幹事会社が教育目的の寄付を申し出たこと。
 - (6) 原因考察し、再発防止策が議会提出されて、今後の PFI 事業への提言が出されたこと。
 - (7) 会計検査を無事に通過したこと。

3月定例議会での 特委解散

以上、目指した問題解決が成ったことから、当特別委員会は使命を終えた。問題発覚から3年以内に決着したことを、町民に明らかにするためには、本特別委員会が解散するのが最も良く伝わるのではないかと。よって、3月定例議会最終日に、

本特別委員会の廃止を提案し、全員一致で可決した。

住民への経過説明と HP掲載

住民への経過説明は、本定例会が音声放送され、町広報誌、議会広報誌、町政懇談会、議会報告会を通じて、説明責任を果たしてゆくことを確認し合った。

さらには、「品質問題発生の原因についての考察」副題「今後の PFI 事業推進における提言」報告書は、本町HPに、直ちにアップすると説明された。

常任委員会の 運営評価と点検へ

今後は教育民生常任委員会が、これら施設の運用評価と点検を担う、通常体制へ移行する。

当初の特委方針

当委員会は、平成27年2月の発足時に、会議運営の方針として、次の三点を採択した。

- ① 町民の求めは早期解決であり、三年目にはほぼ収束させることを目指す。

- ② 町の責任問題よりも、町民の福利厚生のために、対外交渉を優先する。
- ③ 満濃中学校改築調査特別委員会と PFI 事件対策特別委員会の審議経過を継承する。

審議の優先順位

- 次いで、審議の優先順位を、以下の四点のとおりに定めた。
- あ PFI 契約の履行を求めて、三つの施設の設置目的を達成する。
 - い 公行政の信頼の回復を図る。
 - う 住民の利害を代弁する。
 - え 町の対応力を増強する。

本委員会は、三つの方針の下に、四つの優先順位に沿って、問題解決に取り組んできた。

町行政の信頼回復

この一区切りの結論が住民から理解されて、町行政の信頼回復できたのかどうか、この後の住民の反応を議会として注意深く見守りたい。

議員名	質問内容
合田 正夫	・満濃中学校をまんのう中学校に変えては ・有害鳥獣対策
川西米希子	・防災対策
竹林 昌秀	・地方創生の施策の焦点をどこに置くのかを問う ・健康づくり事業の実績をどう評価し、どのように全町へ展開するか ・合併記念事業の推進手法を問う
松下 一美	・防災対策を問う ・緊急通報装置を問う
田岡 秀俊	・「民泊」推進の考えは ・総合戦略、新年度に何を取り組むのか ・将来を見据えた今後のまんのう町の教育方針は
川原 茂行	・農業政策について
三好 郁雄	・未来会議をどのように考えているのか ・住宅火災時における火災場所の位置情報を正確に告知出来ないか
白川 正樹	・合併10周年の記念事業は ・満濃池一周コースの整備計画は ・四ヶ所のゴルフ場に特産品を
白川 年男	・東かがわ市五名地区視察に参加して ・多面的事業等で地域美化・活性化の状況は
三好 勝利	・仲南地区及び一部まんのう地区を含むエリアの中で今後の整備方針を問う
大西 豊	・まんのう町の農業振興について

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

3月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。



捕獲した田畑を荒らすイノシシ

有害鳥獣

問 個体数を減らす対策を

答 年間を通して 奨励金を支給

合田 イノシシ、サルによる農作物等への被害が増え続けている。年間を通して、捕獲に補助金をだすなど対策の拡大が必要ではないか。

町長 県において、イノシシ、サルを捕獲した時に支給する奨励金を年間を通して支給するよう方針の拡大がなされた。又、捕獲対策に二ホン



合田 正夫 議員

ジ力を追加することも提案された。本町としても県の方針に従っていく。

町立中学校

問 校名変更で新たな歴史を

答 貴重な意見として検討

合田 本年4月1日より、琴南中学校と満濃中学校は統合となり、今後、町立中学校は「満濃中学校」1校だけとなる。本年は、旧3町が合併して、10周年の記念すべき年でもある。これをさらなる飛躍の良い機会ととらえ、中学校名を町名と同じ「まんのう中学校」に変更し、更に、新たな歴史と伝統を刻んでいくのがよいのではないか。

町長 満濃中学校は、56年間の歴史を有し、平成18年の旧3町の合併においても校名の変更は行わず今日にいたっている。保護者、住民の意見も聞き検討したい。

防災対策

問 大災害への備えを

答 対策を進め
被害を最小限に食い止める



川西 米希子 議員

川西 現在は、南海トラフ大地震がいつ発生してもおかしくない状況だといわれている。地震等の自然災害から命を守るためには、日頃からの対策が重要である。防災・減災対策、

町民の防災意識を高める取り組みについてはどのようにお考えか。
防災運動会を実施するなど、楽しみながら防災技術の習得や地域の連帯感、コミュニティの活性化も図ることが必要と考えるが。

町長 運動会等の行事に、防災関連競技を導入することで、自助、共助の重要性を身近に感じることができると思う。地域で開催の行事に1つからでも取り入れるよう推進する。

川西 消防団の活動を広報することは、消防団活動への理解を深め、次の担い手を育成することに繋がり、町民の防災意識も高めることになると思うが、積極的広報についてはどう考えるか。

町長 住民に身近な存在であることや団員確保、防災意識の普及や啓発のため、装備品点検や訓練等につい



災害に備えて訓練 (防災のかなめ 消防団)

ても、積極的にホームページや広報等に掲載していく。

川西 民間住宅の耐震化は、地震発生時の建物の倒壊などによる人的被害を軽減するうえから重要である。耐震シェルター等、部分改修等についても補助を行うなど制度の拡充が必要と思うがどう考えるか。

町長 これまで以上に県と連携し、一人でも多くの住民に住宅改修を実施してもらえよう取り組んでいく。

健康づくりの生かし方

問 浸透拡大を図る
手法を問う

答 さらに普及させていく



竹林 昌秀 議員

竹林 「まんのう健康体操」「認知症サポーター」「医療費の節約啓発」などを、健康づくりに相乗りして、住民啓発すれば良いのではないか。また、これまでの実績をどう評価し、どう伝えてどう展開していくのか。

町長 住民の健康増進を主眼に、様々な機会を通じて医療費適正化を推進していく。



まんのう健康体操

合併記念事業

問 町長と議員も輪になり
大いに盛り上げたい

答 町民会議で協議する



食生活改善の成果

竹林 手をつないでうたい、肩を組んで踊り、多くの町民が参加できる「まんのう音頭」「町民讃歌」「まんのうヨサコイ」。これらを記念事業にとり入れると、町が大いに活性化するのではないかと。

町長 貴重な意見として参考にした

防災対策

問 防災士会の結成を

答 防災士連絡協議会(仮称)を創設する

松下 近年、全国的に自然災害が多発している。又、南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率も70%といわれている。本町では、現在、防災土育成事業が実施されており、5名が登録している。今後さらに、積極的に育成を図るとともに、防災士が地域の防災リーダーとしての役割を担って

いけるように早急に会の結成に取り組むべきではないか。

町長 防災士連絡協議会を創設する。又、防災土育成についても一層の推進を図っていく。

松下 大災害時に備えた十分な備蓄体制はできているのか。

町長 町の災害時備蓄体制については、計画的に進めよう。

松下 大災害時に町職員、町施設等の被災による町機能の大幅な低下を防ぐことを目的に、重要な業務を中断させない、中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための業務継続計画(BCCP)の3年以内の作成が求められているが本町の取り組みは。

町長 業務継続計画(BCCP)は平成28年度の策定を予定している。



松下 一美 議員



AED 講習を受ける自衛消防団員

通報装置

問 緊急時に対応したシステムに

答 民間委託も検討

松下 現在のシステムでは緊急の時、用をなさないと声があるが現在のシステムに問題はないのか。

町長 正友会に業務委託しているが一人暮らしの高齢者の自立支援の重要なサービスなので新たなシステムを検討しよう。

観光対策

問 「民泊」推進の考えは

答 本町観光政策の中で積極的に位置づける

田岡 夏のモン・バスには2日で5万人の若者が訪れる。交流人口増、移住促進、空き家対策にもつながる「民泊」を推進してはどうか。

町長 現在、本町は経済的受け皿が脆弱なのが弱点。空き家対策の意味も含め、滞在型観光を確立するためにも重要と考えている。

地方創生

問 総合戦略、新年度の取り組みは

答 「選択と集中」により着実に推進していく

田岡 限られた行政資源「ひと・もの・かね」をどう効果的・効率的に投入し、最も実りあるものとしていくのか。優先順位は。

町長 「キッズヘキサスロン」「観光アプリの開発」「婚活事業」など「まち・ひと・しごと」の創生をKPIにより分析しながら取り組む。

学校教育

問 将来を見据えた今後の本町の教育方針は

答 0歳から15歳を見通した教育を推進

田岡 今後の教育は「アクティブラーニング(能動的学び)」の推進が重要だと思いが、教育環境の変化をふまえ、現在そして今後の教育のあり方は。

教育長 「自立への教育」「キャリア教育」を通じ、アイデンティティをもった人材の育成を目指す。特に就学前教育への投資を図りたい。



志水・秋田両先生によるまんのう型教育への提言



田岡 秀俊 議員

農業振興

問 攻めの農業を

答 生産者の持つ可能性と潜在力をいかに発揮させる



川原 茂行 議員

川原 2年も前から「ひまわり推進協議会」を立ち上げるべく待ち担当者と生産者が協議会を行っているにもかかわらず、今日まで、具体的な動きがないのは問題である。



新たな商品開発を

町長が一言「設立する」と言えば皆が動く、強いリーダーシップを求めたい。又、設立にあたっては、募集を行うとしている地域おこし協力隊の力も必要であるが、地元の有能な人材を起用し新たな商品開発や、販路拡大に着手すべきである。将来を考えれば若い人の育成も重要である。

まんのう町の広大な水田を有効活用し、純益を上げることができれば農業に関心を持つ人も増え、本町の農業振興に繋がるのではないのか。

町長 「ひまわり推進協議会」については、3月4日設立総会を開催する運びである。なお同日「仮称」まんのう町畜産クニスター協議会」も設

立する予定となつている。これにより、より一層の耕畜連携が図れるものと考えている。

まんのう町の特産品と言えば、ひまわりである。今あるひまわり関連商品をさらに延ばして行くのが、私の務めだと思つているので、推進協議会の中で私も先頭に立つて販路開発等に取り組んで行きたい。

今年募集する地域協力隊員については「ひまわりの振興に努める」とを目標に掲げ募集したいと思つている。なお、地元まんのう町内で事業に意欲のある若い人も是非、育てていきたいと思つている。

中学校跡地

問 地域活性化の拠点に

答 地域の住民で検討部会を組織



三好 郁雄 議員

三好 琴南中学校の跡地利用については、「ことなみ未来会議」の中でも検討されることになると思うが、本町には、民宿等、宿泊施設がないので宿としての活用を考えてはどうか。

町長 「ことなみ未来会議」は住民主体の会であり琴南地区全体の活性化についての方向性を示すことを目的に設置されている。それに加えて、現在、地域の方が発起人となり、ことなみ未来会議の中に琴南中学校跡地の有効利用を検討することを目的



どうする琴南中学校の跡地利用

に「検討部会」を組織すべく準備が進められている。平成28年度からは、ワークショップや、先進地視察も行い有効利用につて、宿泊施設としての利用の可能性も含め検討して行くことになる。

住宅火災

問 迅速に特定場所の情報提供を

答 個人情報保護法の壁があり、難しい

三好 火災時の消火活動は、一刻を争うものである。消防団のすみやかな招集のためにも、告知放送等で正確な火災発生場所を伝えるべきではないか。

町長 火災については、通りがかりの方からの通報が多く、その場合には正確な場所の特定は難しい。又、本町においても、全国的にも、個人宅の火災については、個人情報保護の観点から個人宅を特定する放送内容は控えている。

整備計画

問 満濃池一周コースは

答 平成29年度から工事に着手



白川 正樹 議員

白川 町長の公約でもあり、町民も心待ちにしている満濃池1週コース整備の実施に向けての、具体的な計画は出来ているのか。

町長 平成28年度に「都市再生整備計画」を作成し、7月までに仮申請、9月に本申請を予定している。計画

の中に、満濃池1週コースの整備とともに、満濃池周辺の観光施設の整備や善通寺市、綾川町、多度津町と共に、中讃地区の圏域の周遊性を高めるソフト事業を盛り込む必要がある。



ゴルフ場の売店に「特産品コーナー」を

る。同時に満濃池南側の遊歩道未整備区間は全体設計を行い、コース決定、保安林協議、用地協議等を実施する。29年度年度からは工事に着手し、付帯事業も進める。「都市再生整備計画策定委員会」を3月中旬に設置する予定である。

特産品

問 町内ゴルフ場に特産品を

答 営業目的に合致すれば設置を検討

白川 町の特産品を置く施設の一つに、4箇所あるゴルフ場も加えたらどうか。

町長 町内には、こんぴらレイクサイドゴルフ倶楽部、満濃ヒルズカントリークラブ、サンライズヒルズゴルフ倶楽部と県下でも最多の4施設がある。いずれも民間の営利を目的とする会社です。営業目的に合致すれば設置を検討してくれると考えている。

地域振興

問 イノシシの解体施設・ふるさと納税

答 広域的見地から考える本町の魅力的な物産を追加



白川 年男 議員

白川 東かがわ市五名地区では、すでに捕獲したイノシシの解体場を立ち上げている。かかる費用も50万円程度とのこと。本町でもできないか。

また、五名地区では、里山自生を目的として、伐り出したカシ、クヌギ等の広葉樹をふるさと納税返礼品にも入れて地域のPRにも繋げている。本町でももっと力を入れるべきではないか。

町長 イノシシの解体場については、町独自では難しいが、国・県の許可基準に照らして中讃普及所とも相談して調査していく。ふるさと納税の返礼品として

では「ひまわり牛」や「ひまわり油とひまわりドレッシング詰め合わせ」を金額に応じて送っている。



五名の解体施設

制度の趣旨の範囲内で、種類やバリエーションを増やす努力をしていく。

農業振興

問 農業立町、これでもいいのか

答 各種施策を通して活路を見出す

白川 農業を取り巻く状況は先々ますます厳しくなってきた。林業従事者は、ほとんど皆無になり、農業従事者も年々減少している。この歯止めとして「多面的、中山間制度」「集落営農」があるが本町の取り組みはどうか。

町長 中山間地域を活性化させる施策として稲作、麦、野菜等の栽培を支援し「担い手育成事業」や「産地パワーアップ事業」おいで米等「ブランド強化事業」「鳥獣捕獲等助成事業」「畜産収益力強化事業」「薬用作物等振興事業」等々に取り組んでいく。

整備方針

問 整備事業の進捗状況と今後の計画は

答 計画どおりに進んでいる

三好 仲南支所周辺整備事業の進捗状況と今後の計画は。

状況と今後の計画は。

町長 当事業は、平成26年度より仲南支所周辺整備計画を基に着工している。平成26年度には、旧仲南小学校プール跡地の駐車場整備した。平成27年度は、仲南小と旧仲南公民館の間の進入路の整備と仲南こども園前の駐車場整備を行なった。今後は、平成28年度に旧仲南公民館の取り壊しを行い、盛土をして駐車場とする。また、町民文化ホール裏の進入路の整備も実施する。28年度以降は、サン・スポーツランド仲南の管理棟周辺整備も実施の予定である。

仲南支所と周辺は、災害時の避難所でもあり、防災本部となる重要な施設だ。そのために、早期完了できるように努める。

また、仲南支所周辺は仲南地区の中心的な場所となっているので、活気あふれる、また、利用しやすい場所を提供できるように努める。

三好 仲南地区の県道、町道、農道等の整備をどう計画か。



整備が進む仲南支所周辺

町長 町道、農道

等の地元要望を基に順次整備を進める。しかし、30年以上経過した舗装が多く、要望に整備が追いつかないのが現実だ。そこで、平成28年度から3年間を掛けて、予算を増額し、重点整備する。また、維持修繕だけでなく、主要路線の改良も検討しており、早期着工を目指す。国道、県道も粘り強く要望を続け、皆様が安心、安全に暮らせるまちづくりに努める。



三好 勝利 議員

農業振興

問 町の基幹産業である農業推進

答 集落営農組織の設立に取り組む

大西 本町の基幹産業は農業であり、

農業の振興なくして本町の発展はありえない。生命を維持するのに不可欠な食料を確保する農業は人口の高齢化に伴い農業従事者も高齢化している。

「後継者がいないので、農業は自分の代で終わりたい。」

と言った話を耳にする。後継者の問題は個人の問題にとどまらず、基幹産業の農業であるだけに看過できない問題だ。

まんのう町 総合計画に於いても、意欲ある担い手や農業生産法人、集落営農組織の育成と農地利用の集積を図り、高付加価値の安全・安心



集落営農の取り組み

町長 農業振興の優先順位は、まんのう町地域農業再生協議会を中心に、意欲的な後継者、新規就農者、農業生産法人の育成、集落営農組織の設立に取り組み、地域リーダーの育成と地域ぐるみでの生産体制の維持に努める。

そこで、今後本町の農業振興をどの様に進めるのか。

農業が抱える課題の改善策の一つとして集落営農化を推奨していくとある。



大西 豊 議員

町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。



メーン！（町剣道大会）



私の意見を町のために



琴南中学校の心は永遠に



ふーせんに夢と希望を乗せて（仲南こども園）



平和の尊さを教える「語りべ」（満濃中学校）



家族でチームに（仲南バレーボール大会）

取材の足跡

☆お願い☆

「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材をします。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。



- 議会広報特別委員会
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 白川 正樹 |
| 副委員長 | 竹林 昌秀 |
| 委員 | 松下一美 |
| 委員 | 三好 郁雄 |
| 委員 | 合田 正夫 |
| 委員 | 川西米希子 |

議会広報誌19号が完成しました。2年間の任期を終え、今期のメンバーでは、最後の発行となりました。議会が信頼され、民主的まちづくりを実現し、効率的行財政運営を図るためには、町民の皆さんとの連携が最も重要です。新たなメンバー構成となっても、議会広報誌を通して「議会が見えるようになった」といわれることが、与えられた使命であることは変わりません。これからも議員一同、力を合わせて、議会の責任と役割を果たして参ります。



あとかぎ

編集委員一同

たくさんの思い出とともに、大好きなこども園を巣立っていきました。

桜の花が満開に咲く頃、子どもたちは、ピカピカの一年生。

今号の表紙
「こども園」
ありがとう



あそぼうよ 楽しく（新入園児を迎えて）



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会議事局 TEL. (73) 0109 まで